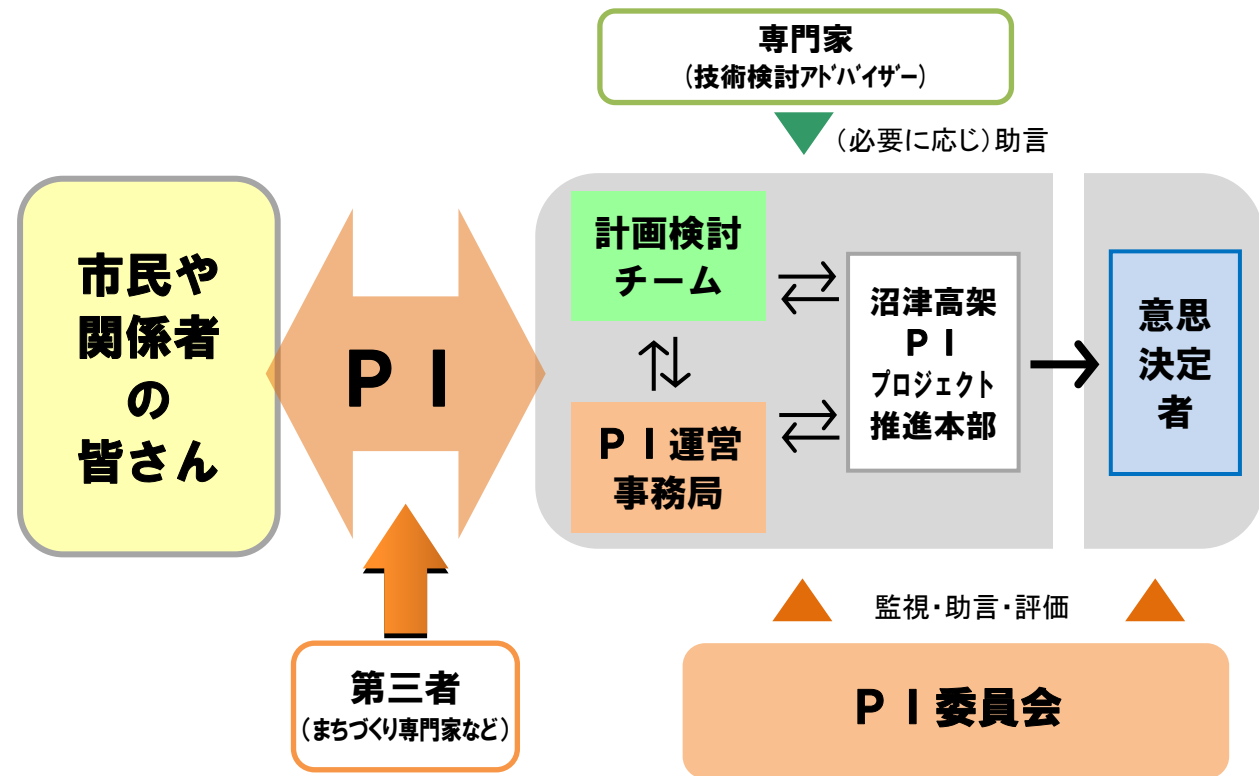


●透明で公正な体制で進めます ～実施体制～

沼津高架PIプロジェクトは透明で公正に進める必要があります。そのため次のような体制で進めていきます。

- PI運営事務局は、市民や関係者の皆さんとコミュニケーションを図る役割を専任的に担います。
- まちづくり専門家などの第三者は、コミュニケーションの場での議論の仲介役を担うとともに、中立的な視点でも情報発信します。
- 計画検討チームは、技術的な計画検討を行います。必要に応じ、専門家から助言を受けながら進めます。
- 沼津高架PIプロジェクト推進本部は、多様な利害や関心を踏まえながらステップごとの結論を出します。また、意思決定にあたり、計画の推奨案を選定します。
- 沼津駅付近鉄道高架事業の方向付けは、PIプロジェクトでの検討結果を判断材料にして、意思決定者が行います。



◇PI委員会の役割

PI委員会は、以下の視点から沼津高架PIプロジェクトが透明で公正に進められているかを監視し、助言・評価するものであり、計画内容の評価や事業の方向付けをするものではありません。

【PI委員会による監視、助言、評価の視点】

- ✓ 多様な利害や関心を調整して互恵的な解決を模索しているか
- ✓ どのステップの検討をしているか明確にしながら進めているか
- ✓ 議論が混乱しないよう、各ステップの趣旨に応じた検討を行っているか
- ✓ 多様な利害や関心を踏まえた上で、目的や代替案、評価項目を設定しているか
- ✓ 市民や関係者との多重多層のコミュニケーションを行っているか
- ✓ 積極的かつ適切に情報を提供しているか、十分に意見を聴き論点を把握しているか
- ✓ PI委員会の助言を踏まえて、適切にPIを実施しているか

沼津高架PIプロジェクトにご意見をお寄せください！

静岡県では、沼津高架PIプロジェクトを実施しています。2～3ページの方法で市民の皆さんとコミュニケーションを図っていくほか、E-mail や FAX でも常時ご意見を受け付けています。ぜひご意見をお寄せください！

※寄せられたご意見は、差出人の名前や住所を除き、原則として原文どおりホームページなどで公開します。非公開を希望される場合は、その旨を記載してください。

※意見に対する個別の回答はいたしません。一定期間毎に意見を集約して、ホームページなどで回答します。

ホームページアドレス: <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/> 沼津高架PI

E-mail: [numazu-pi@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:numazu-pi@pref.shizuoka.lg.jp) FAX:055(926) 5527

静岡県交通基盤部都市局街路整備課 ・ 沼津土木事務所都市計画課

沼津高架PIプロジェクト・PI実施計画

平成24年4月 静岡県  
(平成25年3月改訂)

静岡県では沼津駅付近鉄道高架事業について徹底した合意形成を図るため、パブリックインボルブメント(PI)を実施することとしました。パブリックインボルブメント(PI)は、市民や関係者の皆さんとコミュニケーションを図りながら計画の検討を進める取組みです。このPI実施計画は今後実施するPIの進め方、実施体制などを定めたものです。

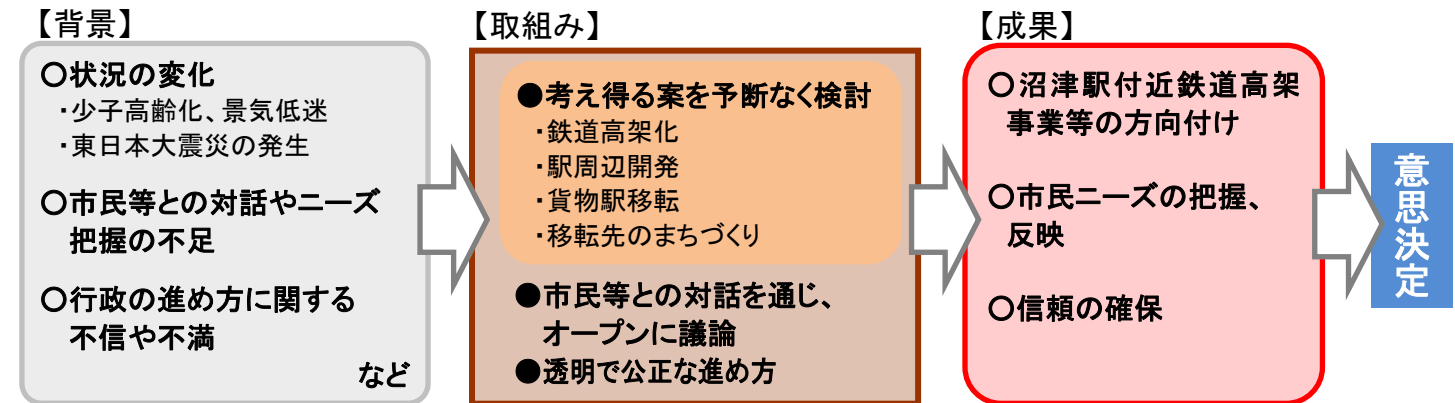
●最大限のコミュニケーションを図っていきます ～沼津高架PIプロジェクトとは～

沼津駅付近鉄道高架事業は、事業着手から約10年が経過しました。これまでの県の取組みを振り返ると、市民の皆さんとの対話やニーズの把握が十分でなく、結果的に行政の進め方に対する不信や不満を抱かせてしまい、率直に反省しております。

そこで、静岡県では、平成23年6月の沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議の報告書を受けた県の推進方針に基づき、改めて沼津駅付近鉄道高架事業等の方向付けをするため、沼津高架PIプロジェクトを立ち上げました。

沼津高架PIプロジェクトでは、鉄道高架化や駅周辺開発、貨物駅の移転など様々な論点について考え得る案を予断なく検討し、市民や関係者の皆さんと徹底したコミュニケーションを図りながら意見を聴き、オープンに議論します。これらは、第三者の有識者で構成するPI委員会が監視し、助言・評価することで、透明性、公正性を確保します。

このような取組により、市民や関係者の皆さんのニーズを把握、反映し、信頼の確保に努めます。



●互恵的解決を目指します

～沼津高架PIプロジェクトのビジョン～

沼津高架PIプロジェクトでは、正当な理由なく個人が犠牲になるような不条理や多くの市民が不利益を被る状況を避ける(不幸を生まない)ことで地域や個人にとっても、公共の利益にとっても相互に価値のある解決策を模索します。

そこで、以下の4点をPIの基本理念として、現在のような複数の論点がぶつかり合ったり絡み合ったりしている二項対立的状況を脱却し、互恵的解決を目指します。

- PIの基本理念
- 「不幸を生まない」解決策の模索
  - 沼津中心市街地の活性化と拠点地区まちづくりの推進
  - 次世代につながる社会資本の整備
  - 建設的、協調的、自律的、公正な議論と信頼構築



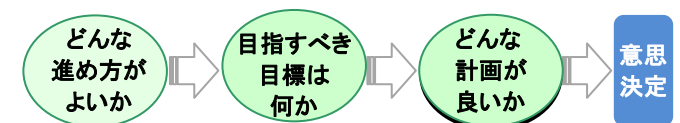
- 互恵的解決
- ✓ 関連する複数の論点を含む様々な解決策を対象
  - ✓ 多様な利害や関心がそれぞれ顧みられる解決策を選択

●予断なく、透明で公正に進めます

～沼津高架PIプロジェクトの進め方～

- ①議論が混乱しないよう、段階的にステップを踏み、一つ一つ確認しながら進めるプロセスとします。
- ②各ステップで何を達成するのか、どんな方法でコミュニケーションするのかなど、検討の進め方をPI実施計画で明確にし、市民等と共有することで公正に進めます。
- ③まずは目指すべき目標を設定し、その後、計画内容を検討します。
- ④計画内容は、様々な角度から複数の案を見比べ、どの計画が総合的に良いかを検討します。
- ⑤各ステップでPIを実施し、直接的・間接的に多重多層の対話を行い、相互の理解を図ります。

◇沼津高架PIプロジェクトは、PI委員会が監視し、助言、評価します。PIプロジェクトで検討した結果を判断材料にして、意思決定がなされます。



●まずは目指すべき目標を明確にし、一つ一つ確認しながら進めていきます ~沼津高架P Iプロジェクトのプロセス~

		H23 年度		H24・H25 年度			
検討の ステップ		<b>Step1</b> PI実施計画の策定	<b>Step2</b> 目標の設定	<b>Step3</b> 代替素案(論点ごと)と評価項目の設定	<b>Step4</b> 代替案(パッケージ)と評価項目の設定	<b>Step5</b> 代替案の比較評価	<b>Step6</b> 推奨案の選定
		✓沼津高架P I プロジェクトの進め方を定めたP I 実施計画を策定します。	✓鉄道高架や貨物駅移転、さらには沼津全体や移転先地区の現在の問題や将来像を検討し、プロジェクトの目標を定めます。	✓目指すべき目標を達成するための複数の代替案を予断なく検討し、比較評価の視点を設定します。 ✓まずは論点となるテーマごとに代替素案を検討し、次にそれらを組み合わせ、相互に関連づけた代替案を検討します。		✓代替案を比較評価します。	✓意思決定にあたり推奨する案を選定するとともにその根拠を整理します。
コミュニケーションの方法	ホームページ 広報紙など	PI 実施計画	Step2_PI 手法 Step2_確定内容 Step3_PI 手法	Step3_確定内容 Step4_PI 手法	Step4_確定内容 Step5_PI 手法	Step5_確定内容 Step6_PI 手法	Step6_確定内容 PI 結果の総括
	オープンハウス	(複数回実施)	(複数回実施)	(複数回実施)	(複数回実施)	(複数回実施)	(複数回実施)
	車座談議		(複数回実施)	(複数回実施)	(複数回実施)	(複数回実施)	
	勉強会						
	パブリックコメント						
PI委員会		審議 PI 実施計画への助言	PI の監視 審議 Step2_PI 手法助言 Step2_PI 結果評価 Step3_PI 手法助言	PI の監視 審議 Step3_PI 結果評価 Step4_PI 手法助言	PI の監視 審議 Step4_PI 結果評価 Step5_PI 手法助言	PI の監視 審議 Step5_PI 結果評価 Step6_PI 手法助言	PI の監視 審議 Step6_PI 結果評価 PI 結果の総括

●多くの論点を総合的に判断します ~議論のテーマ~

議論の内容は幅広いものになるため、まずは、テーマを3つに分けて議論を進めます。その後、3つのテーマは相互に関連するので、それぞれを関連づけ、組み合わせで検討します。議論の展開によっては、新たなテーマについても検討します。

**テーマ① 広域レベル**

- 鉄道高架事業を含む一連の計画の意義
- 貨物駅の近傍駅統合や現位置での存続の可能性など

ホームページや広報紙等で情報を提供し、オープンハウスや車座談議等で意見交換します。テーマ②③で実施する勉強会での議論も踏まえ、専門家の助言を得ながら検討を進めます。

**テーマ② 地区レベル(沼津駅周辺)**

- 鉄道高架事業の計画内容や事業スケジュール
- 沼津駅周辺の開発の計画内容や事業スケジュールなど

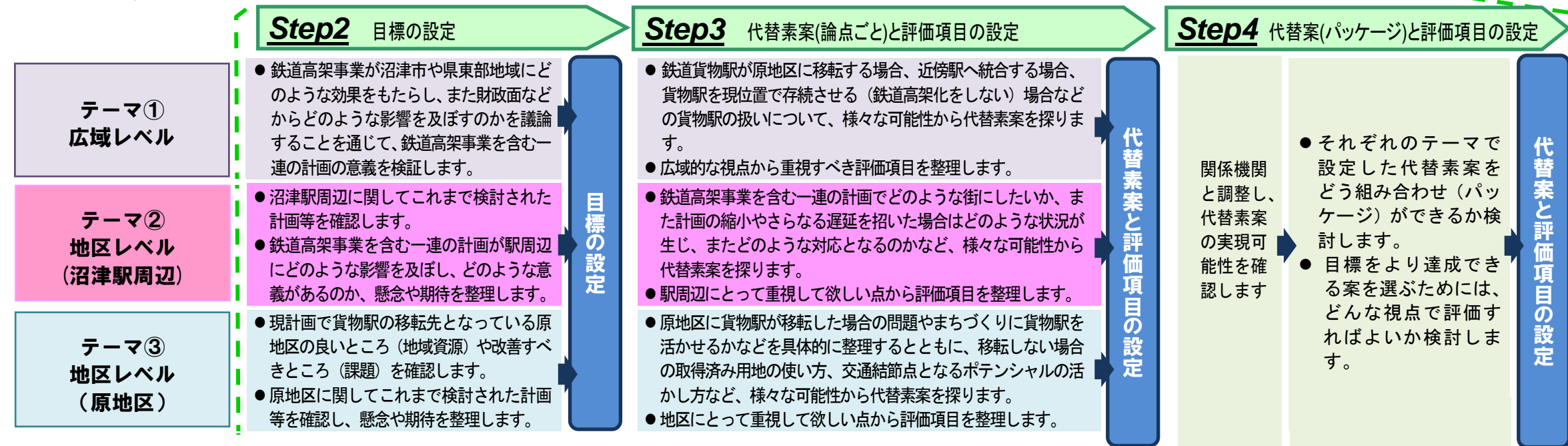
ホームページや広報紙等で情報を提供し、オープンハウスや車座談議等で意見交換します。また、勉強会でも議論しながら検討を進めます。

**テーマ③ 地区レベル(原地区)**

- 貨物駅の移転先とまちづくり
- 貨物駅移転先の拠点形成など

ホームページや広報紙等で情報を提供し、オープンハウスや車座談議等で意見交換します。また、勉強会でも議論しながら検討を進めます。

●複雑な議論を整理しながら進めます ~議論する内容~



●多重多層にコミュニケーションを図ります ~コミュニケーションの方法~

広く情報を提供する手法や、深く内容を議論できる手法など、多様なP I手法を活用し、地域のニーズを把握します。

◆ホームページ・広報紙  
沼津高架P Iプロジェクトの検討状況や各ステップで決まったことなどを、ホームページや広報紙でお知らせします。広報紙は沼津市内の随所で配布します。

◆オープンハウス  
市民の皆さんの集まる場所で、計画に関する情報や進捗状況などをパネル展示で情報提供し、P I運営事務局がご意見を伺います。市民の皆さんが情報を提供する機会も設けます。

◆車座談議  
P I運営事務局が自治会や団体などへ伺い、鉄道高架事業を含む一連の計画、市全体や駅周辺の計画などについて情報を提供し、意見交換することで、情報の共有を図ります。皆さんからの開催要望にも応じます。

◆勉強会  
これまでの計画やまちづくりの考え方を共有しながら鉄道高架化計画の意義や地区の資源、課題、代替案や評価項目に関して議論します。参加者は、主に鉄道高架化計画に関心のある団体等から推薦して頂き、仲介者の第三者を交え、同じメンバーで継続的に進めます。テーマ②とテーマ③に関する勉強会をそれぞれ設置し、テーマ①の議論も交えながら進めます。

◆FAXやe-mailで常時ご意見を募集しています。詳しくは裏面をご覧ください。